

英語実務科では多彩な外部講師による講演会やワークショップを通して、生徒の視野や学びのフィールドを広げ、経験を通してスキルアップすることを目標にしています。このページでは4月から6月までに実施した学科の行事をご紹介します。

総合的な探究の時間 ワークショップ

「ビジネスアイデアの発想」

- 1 日時 令和6年4月11日(木) 18日(木) 6~7校時
- 2 場所 計算実習室
- 3 対象 英語実務科2年生
- 4 講師 日本政策金融公庫 一橋 祐介 氏
- 5 内容 これまでの探究活動で課題解決を考えてきたテーマにビジネスアイデアの手法で取り組みました。グループで自由にブレインストーミングから掛け算のアイデア発想のしかたを教えていただき、自分たちのプランを作って発表して共有しました。一部の生徒は9月のエントリーに向けてさらに活動を続けます。



総合的な探究の時間 特別講演会

「生成 AI の英語学習への活用について」

- 1 日時 令和6年5月7日(火) 3校時
- 2 場所 計算実習室
- 3 対象 英語実務科3年生
- 4 講師 (株)ナガセ AI 教育開発部
- 5 内容 ChatGPTをはじめ、生成 AI が急速に普及する中、AI と生成 AI の違いや生成 AI を使うと何ができるのか、適切に使うために知っておくべきこと、高校生として自分の力を伸ばすための利用方法など、教育のためにいかに生成 AI を使うべきかを研究されている技術者を講師としてオンライン講習を行いました。生徒からの質問にもていねいに答えていただきました。英語の学習においても生成 AI をうまく利用すれば、学習が深まることがわかりました。



総合的な探究の時間 特別講演会「探究活動の意義」



- 1 日時 令和6年5月9日(木)14:25~15:15
- 2 場所 計算実習室
- 3 対象 英語実務科2年生
- 4 講師 (株)KSB 瀬戸内海放送 安藤公紀氏
- 5 内容 課題探究活動の意義を考え、活動の進め方のポイントを探ります。疑問や課題を見つけたら「なぜ？」を5回繰り返すなどし、物事を多面的にとらえるコツを身につけたり、グループでディスカッションする際に、ぶつかったりうまくいかなかったりしながらまとめあげていく力をつける絶好のチャンスが探究活動であること、何事にもチャレンジし、失敗をする経験がとても大切であることなどを学びました。

総合的な探究の時間 国際理解ワークショップ

「インドで日本語を教えて学んだこと」

- 1 日時 令和6年5月22日(木)1校時
- 2 場所 計算実習室
- 3 対象 英語実務科1年生
- 4 講師 JICA 講師 上原 由雅 先生
- 5 内容 今日は JICA の海外ボランティアとしてインドで日本語を教えた上原先生をお招きし、外国の方が日本語を学ぶことについてお話いただきました。上原先生は香川で日本語教師として活躍され、「やさしい日本語」の普及にも尽力されています。去年はインドとオンラインで交流しましたが、今回は大阪大学で学ぶインド留学生のパメラさんをつないで生徒が質問をしました。流暢な日本語で日本の神社仏閣に関する文化の研究について教えていただいたり、JPOP やアニメについても話題が及び、盛り上がりました。香川県内にいても外国にルーツを持つ人たちとのコミュニケーションにはわかりやすい話し方や言葉遣いが欠かせません。今日学んだことを今後に活かしてほしいと思います。



総合的な探究の時間 特別講演会

「探究的なアプローチとテーマの絞り方」



- 1 日時 令和6年5月30日(木)7校時
- 2 場所 計算実習室
- 3 対象 英語実務科2年生
- 4 講師 東かがわ市教育委員会 教育連携コーディネーター
泉谷 俊郎 先生
- 5 内容 各自の見つけた課題をどう掘り下げて、どの方向に向かっていくのかが探究活動においては最もむずかしいところです。今日は泉谷先生をお迎えし、ざっくばらんに探究って楽しい!と思えるようなお話や、探究的に物事を見るとはどういうことか、について教えていただきました。ご講演後、生徒が質問し、具体的なお助言をいただきました。



共育型インターンシップ 事前学習ワークショップ

「あなたにとって働くとは?」

- 1 日時 令和6年6月5日(水)1校時
- 2 場所 会議室
- 3 対象 英語実務科1年生
- 4 講師 香川県中小企業家同友会のみなさん
- 5 内容 英語実務科1年生が実施する共育型インターンシップの事前学習を行いました。(株)多田文房堂 多田宗弘氏によるプレゼンテーションの後、グループディスカッションを行いました。ワークショップの前は働くとは苦しくつらいものというイメージを持つ生徒が多い印象でしたが、多田さんのプレゼンテーションで「仕事は夢を追いながら社会貢献できるチャンス」というメッセージを受け、その後のディスカッションでは各グループに加わった同友会のみなさんと意見交換をし、考え方が変わりつつある手ごたえがありました。グループ代表生徒の発表では率直な意見が出され、夏休みのインターンシップに向けて学びが深まりました。



共育型インターンシップは全国に先駆けて香川県中小企業家同友会が行っている、生徒と企業スタッフが「共に学び育つ」プロジェクトです。英語実務科は昨年より参加しています。希望の職種を知るために行うのではなく、「働く」とはどういうことか、意義は何なのかを主体的に考えることを目標とします。夏休みに実施後、高商祭で全員がポスター発表を行います。